

平成 26年 7月 30日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 徳島県立脇町高等学校 宇山奈生美
2. 講師氏名: NGUYEN, T.M.博士
3. 同行者氏名: 落合 真里先生
4. 実施日時: 平成 26年 7月 15日 (火) 12:50 ~14:30
5. 参加生徒: 2 年生 33 人、 3 年生 40 人、 年 生 人 (合計 73 人)
備考: (例:理数科の生徒) SSHコースの生徒
6. 講演題目: (英文) Dioxins from high-tech traxh: An outlook on environmental chemistry & toxicology
(和文)
7. 講演概要:

数多くの人の手によって生成された化学物質が、環境に放出されている。有害なダイオキシンは、動物や人間、生態系に長く影響を及ぼす。最近では新種のダイオキシンが電化製品の中に見つかっている。従来のダイオキシンと似た化学的な構造を持ちながら、臭素を含むダイオキシンはAhRと作用し合う。今回の講義では、環境における新しいダイオキシンの潜在的な毒性の影響を探し、評価することにおける様々な困難や展望について話し合う。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 70 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者による日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: